

晋级

「2013年12月8日，在东京国立竞技场举行的最后一场晋级赛中，德岛 VORTIS 队以 2 比 0 的比分战胜对手京都队，在建队参加乙级联赛的第九个年头达成了晋级甲级联赛的夙愿。



该队教练小林伸二更是继 02 年带领大分队，08 年带领山形队晋级后，第三次带领自己的队伍杀入甲级联赛。明年的新赛季，德岛队将如其名字一样，带着鸣门涡潮的气势席卷日本甲级联赛的赛场。」以上是报知新闻 12 月 8 日体育专版号外的专题报道内容的一部分。德岛当地的足球队在 2005 年组队参加乙级联赛，前身是 1955 年成立的大塚制药足球俱乐部。以往在乙级联赛中最好成绩是 2011 年的第四名。能够升入甲级联赛，整个德岛县都沸腾了。

因为德岛队的主场正是位于鸣门市的大塚球场，而且我所在的鸣门市观光振兴课也负责部分足球事务，所以很多鸣门市民是该队的球迷。刚到鸣门市不久，我也受到课里同事的邀请去看了一场德岛队的比赛，对当时比赛的场景已经记得不是很清楚了，但是初春的夜晚，这个小小的海滨城市还是比较冷的，但是就是在瑟瑟寒风中，我周围那些球迷的热情却令我至今记忆犹新。我也算是喜欢看足球比赛的，虽称不上球迷。在中国，这项运动不仅吸引了我，更吸引了成千上万的中国百姓。只是中国足球队种种表现寒了不少国人的心。



看着我身边那些德岛队球迷的呐喊助威，看着赛场上球员们奔走的身影，我真心希望自己国家的球队也能强大起来。

昇格

「12月8日に東京国立競技場で行われたJ1昇格プレーオフ決勝で、J2で4位の徳島ヴォルティスが同3位の京都を2-0で下して、四国勢初のJ1昇格を達成した。05年のJ2参戦から9年目の悲願達成。小林伸二監督は02年の大分、08年の山形に続き、史上初の3クラブ目のJ1昇格を成し遂げた。来季はチーム名の由来となった鳴門の渦潮のごとき勢いで、J1大舞台を席卷する」と12月8日の報知新聞号外に記載されました。1955年に大塚製薬サッカー部を前身として創設した徳島ヴォルティスは2005年に四国勢で初めてJ2参戦しました。過去の最高位は2011年の4位でした。今回のJ1昇格で、徳島県内は

喜びに沸きました。

徳島ヴォルティスのホームグラウンドは鳴門市内にある大塚ボカリスエットスタジアムで、私のいる鳴門市観光振興課はプロスポーツのサッカーを担当しているので、多くの鳴門市民は徳島ヴォルティスのファンでこのチームを応援しています。鳴門市に着いた後、担当者に誘われて徳島ヴォルティスの試合を見に行きました。その時の試合をはっきり覚えていませんが、初春の夜、まだ冷たい風が吹いているこの町は寒く感じるのに、周りのファンの皆さんが一生懸命応援している様子はとても印象深かったです。私はサッカーが好きです。よくテレビでサッカーの試合を見ていました。中国には、サッカーが好きな人はたくさんいます。しかし、中国のチームは弱すぎて、またいろいろな悪い事件を起こしてしまったから、ファンの皆さんはとても悲しんでいます。

周りのヴォルティスのファンの皆さんが応援している様子、また一生懸命戦っている選手たちの様子を見て、私は心から中国のチームに真面目に試合をしてもらい、将来は強くなってもらえるように祈ります。

高知行

来到德岛已经有大半年的时间了，来的时候就想着，好不容易来到了四国这个地方，怎么着也得把这岛上的四个县转个遍吧。这么一边想着，一边计划着，去香川县是为了在那儿的高松机场坐飞机回国，全当是去过了。10月份又去了趟位于爱媛县松山市的道后温泉。而后，跟四国的所有中国来的国际交流员合计了一下，12月份的三连休计划自驾车游了一趟高知。去年看了日剧迟开的向日葵，于是被高知县四万十市那条清澈的河流深深地吸引了，这次终于能够成行，一路上又有小伙伴们的陪伴，感觉无比喜悦和兴奋。



约上德岛县内和香川县的国际交流员，在德岛市内租了车，我们一行四人在连休的第一天出发前往高知。就在前一天还是阴霾重重，偶尔还飘雪的天空，在我们出发的这一天也变得艳阳高照，晴空万里。伙伴们一路欢声笑语，我却是因为第一次在日本开车而十分紧张和小心。经过2个多小时的车程，我们顺利到达高知市区，找到在高知县厅担任国际交流员的同伴后，大伙儿一起在高知饱餐了一顿，然后又马不停蹄地开车赶往四万十市。途中有一段海边的路程，美丽的太平洋就在我们身侧，湛蓝而平静，跟我所熟悉的濑户内海有着些许不同。我们将车停在路边，好好地观赏了难得的海景，按下无数快门将这些景致留在我们的相机里。同伴们不停地说，自驾游就是方便，想停就停，想走就走，这



样的自由是其他任何一种旅行方式所无法拥有的。当天晚上，我们宿在四万市国际交流员的家中，大家嗑着瓜子侃侃海聊，这种中国人特有的相聚让我蜕去一身疲惫，全身轻松了很多。第二天，我们去了四万十的沉下桥，去了足摺狎，回到高知市，晚上又在高知国际交流员的家中享受了一餐四川麻辣火锅，那久违的辣味让我们这些异国的游子们回味无穷。第三天，我们游览了高知的桂浜公园后就启程回到了德岛。

旅行让人倍感疲惫，尤其是我，连续开了三天的车。但是旅行却也让人轻松愉快，相信这次高知行，必定在我们这些四国的国际交流员心中留下深刻的印象。

高知の旅

鳴門に来てから半年間以上は経ちました。四国に配属されたことをわかった時に、せっかく四国に行くのだから、四国にある四つの県を回らなければならないと思いました。そして、香川県高松空港の上海便を利用して帰国したことがあり、香川県に行きました。10月に愛媛県松山市にある道後温泉にも行きました。四国にいる他の中国国際交流員と話し合い、12月の三連休に皆で高知の四万十市に行くことにしました。去年、日本ドラマ「遅咲きのヒマワリ」を見て、綺麗な四万十川を見に行きたいとずっと思っていました。今回、仲間と一緒に行くことができ、とても嬉しかったのです。

徳島市で徳島県の国際交流員と一緒にレンタカーを借りて、車で美馬市と香川県の国際交流員を乗せて、三連休の最初の日に高知に向かいました。前日の天気が悪くて、雪も降っていて、とても心配していました。しかし、当日の天気は回復して、とてもいい天気でした。私は初めての日本での運転で、とても緊張していました。友達は初めての車の旅で、とても興奮して楽しみながら話していました。2時間半くらいの運転で、高知市に着きました。高知県庁にいる国際交流員に会って、皆は高知市内で食事しました。その後、車で四万十市に向かいました。途中、海沿いの道を通り、綺麗な太平洋に惹かれ、車を止めて海をゆっくり見ながら写真を撮りました。友達はこの自由さが車の旅行でしか味わえないものだと言いました。初日の夜に、四万十市の国際交流員の家で泊まりました。皆はコタツを囲んで、中国からもってきたおやつを食べながら遅くまで楽しく話をしていました。私もこの楽しさでリフレッシュができました。次の日に、四万十市の有名な沈下橋と足摺岬に行って、夕方頃に高知市に戻りました。夜、高知の国際交流員の家で中国の火鍋を食べ、また楽しい夜を過ごしました。最後の日に、高知市の桂浜によって、観光してから徳島に戻り、旅は終わりました。

私は三日間連続で運転していて、とても疲れしました。しかし、今回の旅行はとても楽しくて、私だけではなく、同行の皆にも忘れられない思い出になったと思っています。

国内新闻

◆外交部透露，中国与泰国的免签协议已经谈完，有望签字达成。



◆被称为春城的云南省昆明市持续低温，造成大量鲜花冻死冻伤。



国内ニュース

◆外交部の担当者の話によって、中国とタイはビザ免除について会談しました。この後、契約を結ぶ方向です。

◆「春の町」と言われる雲南省昆明市は例年より低温のため、大量の花は寒さに耐えられなく、枯れたり、傷付いたりしてしまいました。

所属： 鳴門市観光振興課

地址： 鳴門市撫養町南浜字东浜 170
(〒772-8501)

TEL: 088-684-1746

FAX: 088-684-1339

E-mail: kokusai@city.naruto.lg.jp

编辑： 刘蓉